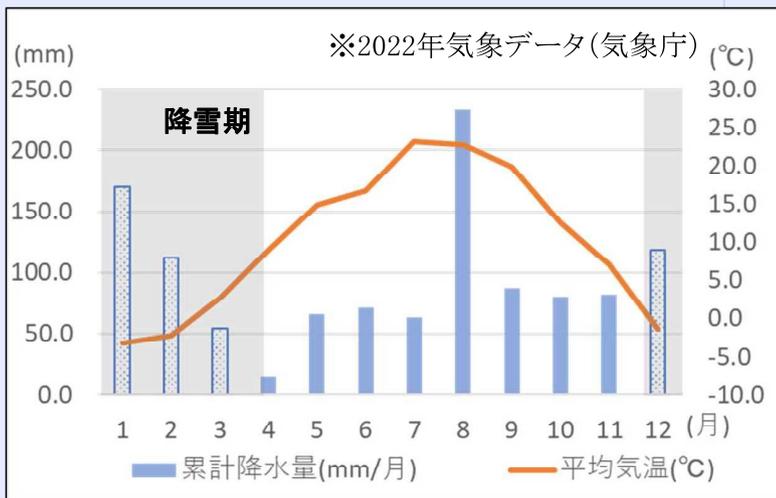


札幌市の概要



面積 112,126ha (計画区域約25,000ha)
人口 197万3千人
下水道施設 水再生プラザ：10箇所
 ポンプ場：16箇所
 管路：約8,300km
年間降水量 約1,100mm (12月～3月は降雪)



局地的な浸水被害が発生しています

- 近年、全国的に集中豪雨が増加傾向
- 市内でも、大雨により下水道が溢れ、局地的に道路冠水や床下浸水などが発生



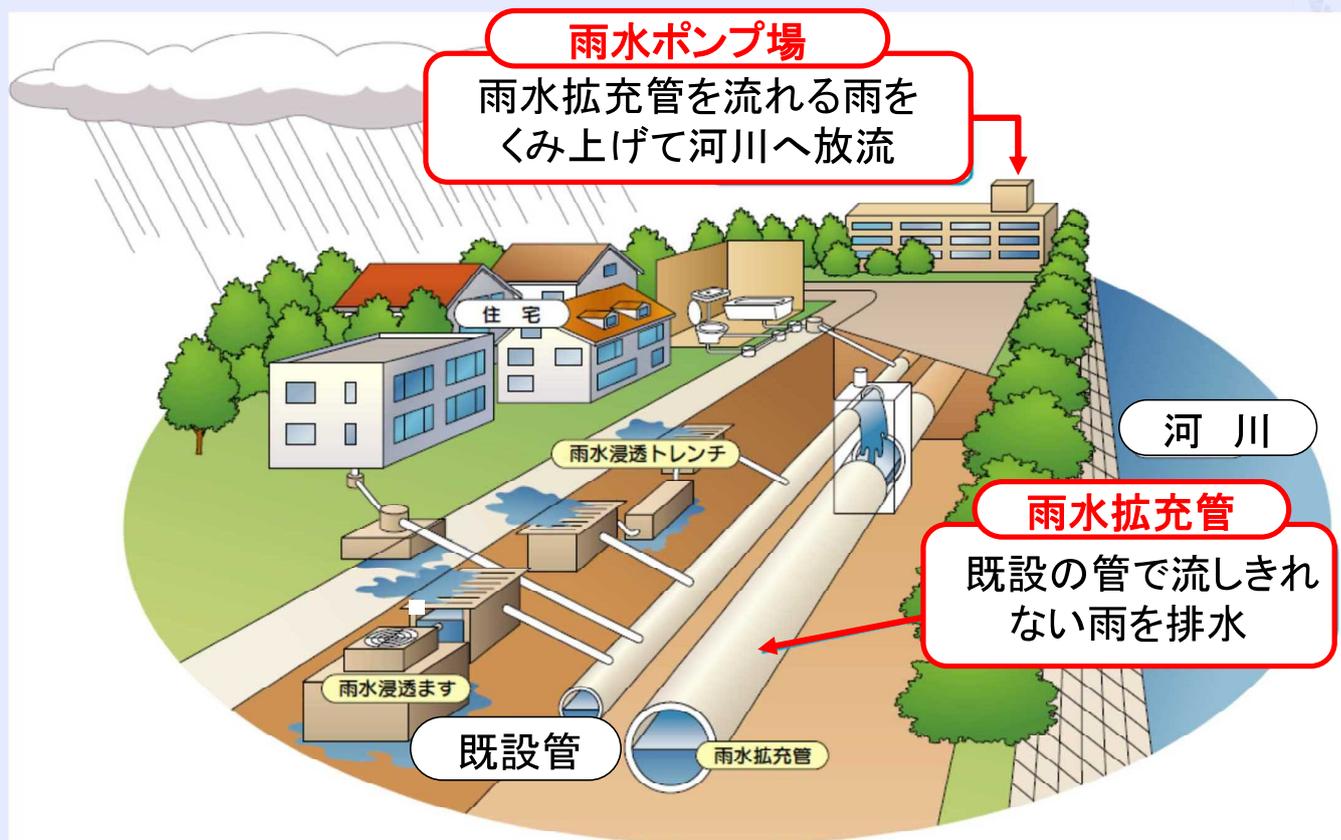
H29豊平区



H29白石区

【全市的な対応】 雨水ポンプ場・雨水拡充管の整備

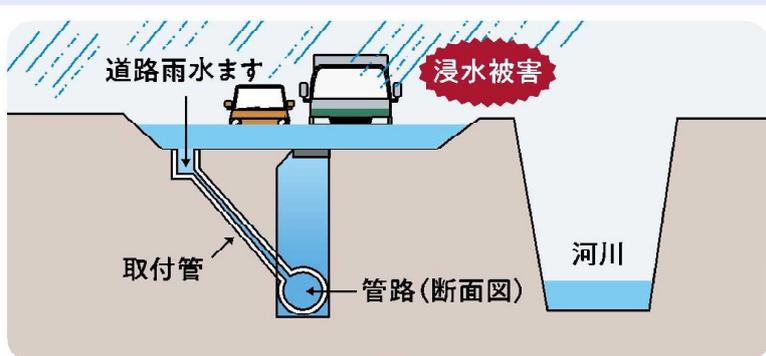
- 10年確率降雨35mm/hに対応できるように排水能力を増強
- 雨水ポンプ場は、計画7箇所の整備が全て完了。



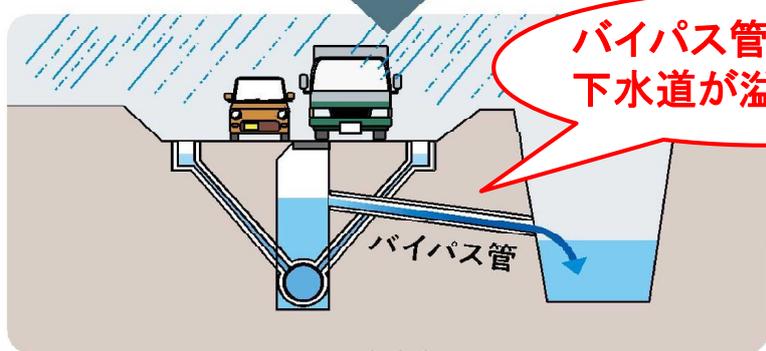
【浸水しやすい場所への対応】 バイパス管などの整備

- 排水能力(35mm/h)を超える大雨による浸水被害軽減の取組
- 窪地などの浸水が発生しやすい場所において、能力に余裕のある河川や下水道幹線へのバイパス管などを整備

対策前



対策後

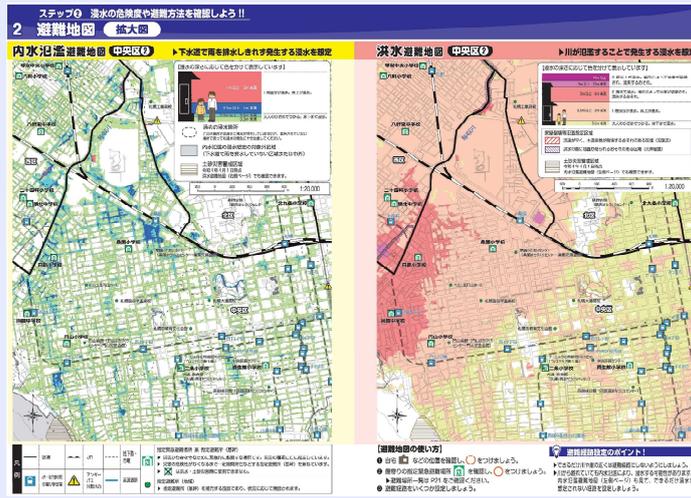


札幌市浸水ハザードマップを公表しました！

- **水防法**に基づき、市全体の内水ハザードマップを作成し、「札幌市浸水ハザードマップ」として**令和4年3月に公表**
- 既存の**洪水ハザードマップ**と**統合**し、浸水想定区域図を併記
- 自宅の浸水危険度に応じた避難方法を確認できるチェックシートとして、巻末に「わが家の防災メモ」
- 行政区ごとにA4判冊子で作成



表紙



浸水想定区域図
(左:内水氾濫 右:洪水)



わが家の防災メモ
(避難方法チェックシート)

浸水シミュレーションの概要

- 市域全体(計画区域:約25,000ha)を対象に、**想定最大規模降雨125mm/h**による浸水シミュレーションを実施
- 本市河川部局が構築していた**既存流出解析モデル**を活用し、下水道・河川一体で解析

	令和2年度											令和3年度	
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
既存流出解析モデルの編集 (新設雨水管の追加等)	→												
キャリブレーション			→										
浸水シミュレーションの実施 浸水想定区域図の作成									→				
ハザードマップ作成													→ R4.3公表

浸水シミュレーションの工程(概要)

■印刷物の全戸配布

より多くの市民にハザードマップを確認していただけるよう、**令和4年度に印刷物を市内全戸へ配布。**

- ・配布部数：約100万部
- ・配布期間：令和5年1月～3月



■出前講座やSNSによる広報

ハザードマップへの理解をより深めていただけるよう、学校や町内会などの要望により行っている**浸水対策に関する出前講座の機会を活用して説明。**

今後は、夏場の出水期が近づいた際に、市公式Twitterなどで、ハザードマップを確認いただくよう周知していきたい。



■町内会単位のハザードマップ作成

地域の集会所や事業所で掲示、町内会などで行われる大雨を想定した図上訓練など、地域の防災活動に積極的に活用していただけるよう、市内に約100ある**連合町内会ごとにA3版1枚で取りまとめたハザードマップも作成。**

